

情報提供日： 令和8年2月10日

一般会計予算 310億2,100万円(前年度比△4億7,100万円・1.5%減) 令和8年度龍ヶ崎市予算(案)を発表しました(2/10)

龍ヶ崎市では、本日、令和8年2月10日(火)、予算発表記者会見を開催し、令和8年度龍ヶ崎市予算(案)を公表しましたので、お知らせします。

【令和8年度予算のポイント】

○人事院勧告による給与改定や扶助費の伸びなどから経常経費は増加しているものの、新長戸コミュニティセンター建設事業の終了、北竜台学園施設整備事業が最終年度を迎え大型建設事業がピークを過ぎたことで、予算規模は縮小。

一般会計予算:310億2,100万円(前年度比 △4億7,100万円・1.5%減)

※一般会計・特別会計予算総額:469億3,350万円(前年度比△2億5,780万円・0.5%減)

※下水道事業会計:39億9,485万円(前年度比4億5,950万円・13.0%増)

【令和8年度の主な事業】

○小中学校給食費無償化事業(3億1,498万円)【学校給食センター】 **新規**

物価高騰の中で保護者の経済的負担を軽減するため、小学校段階での学校給食費の抜本的な負担軽減策として新たに創設される国県からの交付金に併せて国からの臨時交付金を活用し、令和8年度の小中学校給食費を完全無償化

○小中学校体育館空調整備事業(4,964万円)【教育総務課】 **新規**

子どもたちの命と学びの環境を確保するとともに、災害時の避難所としての機能強化を図るため小中学校体育館へエアコンを設置(令和8年度は整備に向けた実施設計費を予算化)

○こどもの居場所・遊び場創出事業(900万円)【こども家庭センター】 **拡充**

放課後や夏休み等、子どもたちが気候や天候に関わらず自由に集まって活動ができる居場所・遊び場「ここくれば」を令和8年度は馴染みコミュニティセンターへ開設(市内3か所目)

○たつのこフィールド管理事業(1億3,680万円)【スポーツ推進課】

日本陸上競技連盟第3種公認の更新に必要な改修を実施し、記録を支える環境を確保するとともに、地域活性化を推進

○龍ヶ崎市駅東口駅前広場改修事業(1,097万円)【道路公園課】 **新規**

JR龍ヶ崎市駅東口駅前ロータリーで行った社会実験の検証結果を踏まえた改修を行い、安全で快適な道路空間を整備(令和8年度は基本計画を設計)

■ 龍ヶ崎市長 萩原勇コメント

市長に就任してからの1期4年間は、コロナ禍からの回復や物価高騰、激甚化する自然災害など、困難な課題に直面する中で、市民の皆様の生活の安全・安心を第一に考え、市政運営を進めてきました。

2期目を迎える令和8年度は、「安全と安心を追求し、住み続けられるまちを創る」の実現に向けた様々な取組をさらに加速させ、子どもから若者世代、そして高齢者まで、このまちに住まう全ての人々が幸福を実感しながら笑顔で暮らし続けることができるまちづくりを積極的に進めてまいります。

■発表日時	令和8年2月10日(火)午前11時 発表 (上記日時に開催した予算発表記者会見で配布した資料をお送りしています)
■添付資料	記者発表資料／市長記者発表要旨／令和8年度龍ヶ崎市予算の概要

担当課	龍ヶ崎市 総務部 財政課 財政グループ 担当者:平野(ひらの)・関川(せきかわ) 連絡先:0297-60-1517(直通)
-----	--

2 令和8年度予算のポイント



一般会計予算は310億2,100万円、前年度比4億7,100万円(1.5%)減
大型建設事業のピークアウトにより、予算規模は縮小

会計別予算の状況		令和8年度	令和7年度	比較	増減率
一般会計		310億2,100万円	314億9,200万円	△4億7,100万円	△1.5%
特別会計	国民健康保険事業	67億8,400万円	68億6,700万円	△8,300万円	△1.2%
	介護保険事業	65億5,500万円	64億8,900万円	6,600万円	1.0%
	児童発達支援事業	1億4,250万円	1億2,930万円	1,320万円	10.2%
	後期高齢者医療事業	24億3,100万円	22億1,400万円	2億1,700万円	9.8%
	特別会計合計	159億1,250万円	156億9,930万円	2億1,320万円	1.4%
総計		469億3,350万円	471億9,130万円	△2億5,780万円	△0.5%
下水道事業会計		39億9,485万円	35億3,535万円	4億5,950万円	13.0%



令和8年度の龍ケ崎市一般会計予算は、歳入では、基幹収入である市税は、新築家屋棟数の増加などから固定資産税の増収要因はあるものの、原材料費の高騰の影響などによる法人市民税の減収により、市税全体では3,668万円の減収を見込んでいます。市債は、大型建設事業のピークが過ぎたことにより、減となっています。一方で、地方消費税交付金をはじめとする各種交付金や令和7年度算定を基準に地方財政対策等を考慮した地方交付税については、増となっています。

歳出は、人事院勧告を反映した給与改定の影響により人件費が増加するほか、子どものための教育・保育給付費や障がい福祉サービス給付を主とした扶助費の伸びなどにより、経常経費が増となっています。一方で、普通建設事業は、新長戸コミュニティセンター建設事業の終了や北竜台学園施設整備事業が最終年度を迎えることにより、大型建設事業のピークが過ぎ、大幅な減となっています。

収支ギャップは、前年度から1,500万円減の5億8,500万円となりましたが、依然高止まりの状況にあります。これを、財政調整基金の繰入で対応しますが、予算執行における収支改善が課題となっています。

特別会計は、高齢化社会の進展により、介護保険事業及び後期高齢者医療事業の予算規模は拡大傾向にあり、それに伴い、一般会計からの繰入金が増加しています。今後も、一般会計からの繰入金の増加が想定されることから、財政運営への影響が懸念されます。

2

Creation — ともに創るまち・龍ケ崎 —

2 令和8年度予算のポイント

リーディングプロジェクト
Leading 未来創造 Project

未来創造プロジェクト～子どもの笑顔が続くまちを創る～



子どもの居場所・遊び場
創出事業



900万円

放課後や夏休み等、子どもたちが気候や天候に関わらず自由に集まって活動ができる居場所・遊び場「ここくれば」を開設（令和8年度は馴染みコミュニティセンターへ新規開設）



5歳児健康診査事業

239万円

子どもの特性を早期に発見し、適切な支援を行うとともに、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、子どもの健康の保持増進を図るため、年中の時期に健康診査を新たに実施



小中学校給食費無償化事業



3億1,498万円

物価高騰の中で保護者の経済的負担を軽減するため、小学校段階での学校給食費の抜本的な負担軽減策として新たに創設される国県からの交付金に併せて国からの臨時交付金を活用し、令和8年度の小中学校給食費を完全無償化

北竜台学園施設整備事業



11億1,399万円

小中一貫教育をより充実させるため長山中学校区に施設一体型の義務教育学校を整備（令和6年度～8年度3か年継続（総額45億3,639万円））※令和9年4月開校



小中学校体育館空調整備事業



4,964万円

昨今のいわゆる「酷暑」の期間が数月に及んでいる状況を踏まえ、子どもたちの命と学びの環境を確保するとともに、災害時の避難所としての機能強化を図るため小中学校体育館へエアコンを設置（令和8年度は整備に向けた実施設計費を予算化）



ライフデザイン形成事業

364万円

中学2年生を対象に、就職・結婚・子育てなど自身の将来を具体的に考える機会を提供し、「夢」や「目標」の明確化、龍ケ崎市での暮らしをイメージし魅力を再認識することでシビックプライドを醸成（対象を市内中学校5校・17クラスに拡充）

○は、「みらい育成基金」を充当している事業です。「みらい育成基金」は、ふるさと納税の寄附金を積立てた基金で、「未来を担う子どもたちのための事業」「健康で安心な環境を育てるための事業」などに使われます。

◇は、6頁以降、事業の内容と財源の内訳について、紹介しています。

3

Creation — ともに創るまち・龍ケ崎 —

2 令和8年度予算のポイント

リーディングプロジェクト
Leading 魅力創造 Project

魅力創造プロジェクト～もっと魅力が感じられるまちを創る～

スポーツライミングのまち龍ヶ崎推進事業

4,420万円

地域資源となる力を有するスポーツライミングを活かし、様々な分野と連携し、地域に根差した新たな魅力づくりを推進

たつのこフィールド管理事業

1億3,680万円

日本陸上競技連盟第3種公認の更新に必要な改修を実施し、記録を支える環境を確保するとともに、地域活性化を推進

リーディングプロジェクト
Leading 幸せ創造 Project

幸せ創造プロジェクト～日常を豊かに、快適に過ごせるまちを創る～

龍ヶ崎市駅東口駅前広場改修事業

1,097万円

J R龍ヶ崎市駅東口駅前ロータリーで行った社会実験の検証結果を踏まえた改修を行い、安全で快適な道路空間を整備（令和8年度は基本計画を設計）

長戸コミュニティセンター講座開催事業

38万円

長戸コミュニティセンターのオープンに併せて高齢者の健康寿命延伸を図るため龍・流連携で新たに講座を実施

公共施設再編成の取組・インフラの新設等

市道第1-380号線（佐貫3号線）整備事業

3億56万円

北竜台市街地、牛久市方面からJ R龍ヶ崎市駅へのアクセス向上のため都市計画道路佐貫3号線を整備
※令和7年度前倒し（2億8,556万円）を含む

下水道管路特別重点対策事業

2,000万円

1994年以前に布設・改築された内径2m以上の管渠について令和7年度下水道管路特別重点調査結果に基づき修繕改築を実施

○は、「みらい育成基金」を充当している事業です。「みらい育成基金」は、ふるさと納税の寄附金を積立てた基金で、「未来を担う子どもたちのための事業」「健康で安心な環境を育てるための事業」などに使われます。

◇は、6頁以降、事業の内容と財源の内訳について、紹介しています。

4

Creation — ともに創るまち・龍ヶ崎 —

2 令和8年度予算のポイント

防災・減災対策の推進

災害時協力井戸普及啓発事業

104万円

長期的な断水があった際、市民が所有する井戸水を近所の方々へ無償提供する「災害時協力井戸」を普及し、有事の際の給水体制を確保

防災井戸整備補助事業

255万円

災害時における地区内の生活用水の確保のため、自主防災組織が主体に行う井戸の新規設置や修繕に要する費用を補助

その他の主な事業

事業承継支援事業

180万円

地域を支える事業者の次世代の担い手（後継者）を育てるための人材育成を支援（龍ヶ崎市バトン承継支援事業補助金の運用開始）

龍ヶ崎トマト産地育成プロジェクト推進事業

550万円

市を代表するブランドである龍ヶ崎トマトの生産者の確保に向け、生産者部会・J A・県と連携し、竜ヶ崎施設園芸部会産地力向上対策協議会を構築（このほか、地域活性化起業人として民間企業の社員等を一定期間受け入れ、ノウハウや知見を活かした担い手育成を実施）

防犯カメラ等設置事業

1,129万円

犯罪を未然に防止するため防犯カメラの更新及び地域団体が設置する防犯カメラの費用を補助

牛久沼保全対策事業

542万円

牛久沼の水質などの環境保全、適正管理のため監視カメラを設置するとともに不法投棄ごみパトロールを実施

○は、「みらい育成基金」を充当している事業です。「みらい育成基金」は、ふるさと納税の寄附金を積立てた基金で、「未来を担う子どもたちのための事業」「健康で安心な環境を育てるための事業」などに使われます。

◇は、6頁以降、事業の内容と財源の内訳について、紹介しています。

5

Creation — ともに創るまち・龍ヶ崎 —

市長記者発表要旨

私が市長に就任してからの 1 期 4 年間は、コロナ禍からの回復や物価高騰、激甚化する自然災害など、困難な課題に直面する中で、市民の皆様の生活の安全・安心を第一に考え、市政運営を進めてまいりました。

2 期目を迎える令和 8 年度は、これまでの取組を確固たる土台とし、私の公約のスローガンである「安全と安心を追求し、住み続けられるまちを創る」の実現に向け、「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」に掲げる 3 つのリーディングプロジェクトに重点的かつ優先的に取り組むことはもちろんのこと、各施策の取組をさらに加速させていく年となります。

後ほど個別の事業についてご説明いたしますが、令和 8 年度は、小中学校体育館へエアコンを設置するための設計の実施や、JR 龍ヶ崎市駅東口駅前ロータリー改修事業の推進、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の推進やプロスポーツチームとの連携など、リーディングプロジェクト等の具体策であるアクションプランに位置付けた施策を、財政の健全性を維持しながら着実に実施するための予算といたしました。

令和 8 年度の予算規模ですが、前年度と比較して、一般会計の予算額は、4 億 7,100 万円、1.5%減の 310 億 2,100 万円となりました。

特別会計の合計額は、2 億 1,320 万円、1.4%増の 159 億 1,250 万円となりました。

高齢化社会の進展により、介護保険事業及び後期高齢者医療事業の予算規模が拡大傾向にあり、それに伴い、一般会計からの繰入金が増加していることから、今後の財政運営への影響が懸念されるところです。

下水道事業会計は、4 億 5,950 万円、13.0%増の 39 億 9,485 万円となっています。

令和 8 年度予算の特徴です。

歳入のうち、基幹収入である市税は、新築家屋棟数の増加などから固定資産税の増収要因はあるものの、原材料費の高騰の影響などによる法人市民税の減収により、市税全体では 3,700 万円の減収を見込んでいます。

市債は、大型建設事業のピークが過ぎたことにより、大幅な減となっています。

一方で、地方消費税交付金をはじめとする各種交付金や、令和 7 年度算定を基準に地方財政対策等を考慮した地方交付税については、増となっています。

歳出は、人事院勧告を反映した給与改定の影響により人件費が増加しているほか、子どものための教育・保育給付費や障がい福祉サービス給付を主とした扶助費の伸びなどにより、経常経費が増となっています。

一方で、普通建設事業は、新長戸コミュニティセンター建設事業の終了や北竜台学園施設整備事業が最終年度を迎えることにより、大型建設事業のピークが過ぎ、大幅な減となっています。

収支ギャップは、前年度から 1,500 万円減の 5 億 8,500 万円となりましたが、依然高止まりの状況にあります。これを、財政調整基金の繰入で対応しますが、予算執行における収支改善が課題となるところです。

次に、令和 8 年度当初予算に計上した、主な事業についてです。

はじめに、「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」の、3 つのリーディングプロジェクトに関連する取り組みについて、新規事業を中心にご説明します。

まず、子どもの笑顔が続くまちを創るための「未来創造プロジェクト」です。

5 歳児健康診査事業では、こどもの特性を早期に発見し、適切な支援を行うとともに、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、こどもの健康の保持増進を図るため、国が目標とします令和 10 年度までの実施から前倒して、年中の時期に健康診査を実施します。

小中学校給食費無償化事業では、物価高騰の中で保護者の経済的負担を軽減するため、小学校段階での学校給食費の抜本的な負担軽減策として新たに創設される国県からの交付金に併せて、国からの臨時交付金を活用し、令和 8 年度の小中学校給食費を完全無償化します。

小中学校体育館空調整備事業では、こどもたちの命と学びの環境を確保するとともに、災害時の避難所としての機能強化を図るため、小中学校体育館へのエアコン設置に向けた実施設計を行います。

続いて、もっと魅力が感じられるまちを創るための「魅力創造プロジェクト」です。

たつのこフィールド管理事業では、日本陸上競技連盟第 3 種公認の更新に必要となる改修を実施し、記録を支える環境を確保するとともに、地域活性化を推進します。

続いて、日常を豊かに、快適に過ごせるまちを創るための「幸せ創造プロジェクト」です。

龍ヶ崎市駅東口駅前広場改修事業では、ＪＲ龍ヶ崎市駅東口駅前ロータリーで行った社会実験の検証結果を踏まえた改修を行い、安全で快適な道路空間を整備するため、令和 8 年度は基本計画の設計を行います。

また、公共施設再編成の取組・インフラの新設等も進めてまいります。

下水道管路特別重点対策事業では、1994 年以前に布設・改築された内径 2m 以上の管渠について、令和 7 年度に行った下水道管路特別重点調査結果に基づき修繕改築を実施します。

次に、防災・減災対策の推進です。

災害時協力井戸普及啓発事業では、長期的な断水があった際、市民が所有する井戸水を近所の方々へ無償提供する「災害時協力井戸」を普及し、有事の際の給水体制を整備します。

防災井戸整備補助事業では、災害時における地区内の生活用水の確保のため、自主防災組織が主体に行う井戸の新規設置や修繕に要する費用を補助し、災害時における地区内の生活用水の確保を図ります。

そのほか、地域経済の活性化、自然環境の保全と環境美化の推進などに対応する予算を新たに計上しています。

龍ヶ崎トマト産地育成プロジェクト推進事業では、市を代表するブランドである龍ヶ崎トマトの生産者の確保に向け、生産者部会・ＪＡ・県と連携し、竜ヶ崎施設園芸部会産地力向上対策協議会を構築し、産地の持続発展を図ります。このほか、地域活性化起業人として民間企業の社員等を一定期間受け入れ、ノウハウや知見を活かした担い手の育成に取り組めます。

牛久沼保全対策事業では、牛久沼の水質などの環境保全、適正管理のため監視カメラを設置するとともに不法投棄ごみパトロールを実施していきます。

これらの取組により、こどもから若者世代、そして高齢者まで、このまちに住まう全ての人々が幸福を実感しながら笑顔で暮らし続けることができるまちづくりを積極的に進めてまいります。

ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。